

【プレスリリース資料】平成29年度O-NEXT活動についてのご報告



平成29年3月27日

O-NEXT一同

本日はお忙しいところ業界紙各紙皆様にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。O-NEXTは平成28年2月の常任理事会の承認を得て発足し、活動を開始いたしました、その内容につきましてこれまでの振り返りと平成29年度の活動についてご報告いたします。

・O-NEXTの体制と平成28年度活動結果

O-NEXTは森友会長の発案と常任理事の賛同により、以下の設立の目的を担いスタートしました。

1. 設立の目的について

将来（例えば50年後）に我々の業界がどうあるべきか、若い柔軟な頭、思考で考えて、今できるところから提案してもらい、当業界をより良いものとするために、全卸連として若手中心の委員会を設立する。

2. 現在の体制について

（委員長） ㈱富貴堂 村田社長

（副委員長） ㈱まさ屋 平井社長、森友通商㈱ 早水副社長、㈱秋葉商店 秋葉社長

（委員） ㈱ジェムコ 黒田常務、宇山商事 宇山常務、㈱遠藤商店 遠藤 聡、
㈱豊栄 水谷浩介、㈱ヤマダヤ 余語一輝、(有)田代商店 田代広輝
以上10名

（メンバー増員も考えたいが、29年度は予算の関係もありこの10名とする）

3. 打合せ実施について

- ・第1回打合せ 4月4日（月）15：00～ 於エフティ資生堂会議室
- ・第2回打合せ 5月13日（金）10：00～ 於森友通商会議室
- ・第3回打合せ 9月7日（水）15：00～ 全卸連事務所
- ・第4回打合せ 29年2月1日（水）13：00～ 全卸連事務所

4. 主要な議題について

体制作り（委員長、副委員長、委員）

設立目的の合意

全卸連を知る（歴史と現状を知る）

O-NEXTのロゴ決定（FT資生堂様作成）

全卸連スローガンの見直し提案について（会長よりの宿題）

卸流通アカデミー（ORA・ORB）の今後について

首都圏展示会（Great Deal Show）の設計（後述）

29年度活動計画の策定（後述）

・ スローガンの検討と提案

1. 平成 29 年度スローガンの提案

設立にあたり森友会長より、まず全卸連の平成 29 年度のスローガンについて、考えて提案してほしいという宿題を与えられて、0 - N E X T 会議を開催したり、また L I N E や fakebook などを活用して広く全国に所在するメンバー間の意見交換を行い、提案をまとめ、以下の全卸連の会議体にて提案し、決定いたしました。

- ・平成 28 年度全卸連総務組合活動委員会出席 12 月 6 日 13:00 ~ 於 AP 東京丸の内
- ・平成 28 年度第 3 回全卸連常任理事会出席 29 年 2 月 10 日 13 : 00 ~ 於 "

平成 29 年度 新スローガン提案	平成 28 年度 スローガン
~ 全卸連！未来への挑戦！！	~ がんばろう 日本 ~ ~ がんばろう 卸売業 ~ ~ 心 ひ と つ に ~
1. 未来型の取引制度を構築しよう 1. 全卸連の価値を高めよう 1. 製・配で返品削減に取り組もう	1. 我々は確固たる卸機能を確立しよう 1. 我々は公平・公正な取引を厳守しよう 1. 我々は地域社会の豊かな消費生活に貢献しよう 1. 我々は資源を有効に活用し、環境保全に取り組もう

(0 - N E X T 提案骨子)

これまでの全卸連のスローガンは、網羅的にまとめていたことは良い反面、具体的な活動に落としにくいものと感じる。今回はこれに着目し具体的な行動計画の立てやすいスローガンを提案しました。

未来型の取引制度を構築しよう

店頭価格差に注目し、自分たちが仕入れた価格より安い販売価格が出ることがないような取引制度。また価格競争を引き起こしている販促費の正しい管理も含めて卸にとって夢の持てる未来型の取引制度を構築する

全卸連の価値を高めよう

全卸連のメンバーがどんどん減ってきているこの現象は危機的なもの考える。全卸連に参加して良かったと思えるに挑戦し、加盟卸、メーカーの幅を広げたい。その具体的な取り組みとして首都圏において、展示会を提案してみたい。

(後ほど提案致します。)

製・配で返品削減に取り組もう

我々の業界のなかで、大変良くない商慣行である返品削減に取り組んでみたい。具体的には大手メーカー様の返品処理会社や大手メーカー様の焼却炉を備えた工場見学など、返品された商品がどんな運命をたどるのか現場に立ち確認

し『もったいない』という感覚また思いを再度組合員に持たしたい。

12月度開催の総務組合活動委員会にて、宿題となっていたスローガンのキャッチフレーズは、全卸連！未来への挑戦！！ ○考動 ○理（ことわり）の3つを提案しましたが、2月開催の常任理事会にて、1つに絞り込んでいただき、○全卸連！未来への挑戦！！に決定いたしました。

2. スローガン変更に伴う、重点活動項目策定について

スローガンが決まり、それに合わせた平成29年度の重点活動項目は常任理事会にて以下の通り決定した。

平成29年度 重点活動項目（決定）	平成28年度 重点活動項目（現行）
未来型の取引制度構築 製・配で返品削減に取り組もう 組合活動の活性化のため支援する 卸売業の地位向上と人材育成を図る 公平・公正な取引を厳守する 製・配・販のシステム標準化の推進	流通の課題について、メーカー様と意見交換し、卸売業の考えを提示する 単位組合活動の活性化並びにブロック活動の活性化を推進する 公平・公正な取引を厳守する E D I標準化への取り組みを推進する 卸売業の地位向上と人材育成を図る

・平成29年度活動計画

これまでの活動を報告してきましたが、0 - N E X Tは次年度（平成29年度）にやるべきことを予算と照らし合わせながら決定いたしました。これを報告いたします。

4月より本格始動として、業界紙各紙にプレスリリース致します。（本日）

5月19日（金）全卸連総会で活動計画を報告

6月大手メーカー様の焼却炉を備えた工場への見学（1泊2日）を計画。

予算上もう1つのメーカー様の返品処理会社訪問は次年度以降にする

7月7日（金）首都圏展示会（Great Deal Show）を台東館にて開催計画。（詳細は次ページ）

9月12日（火）開催の流通懇談会にて6月返品処理工場の見学の成果をプレゼンする計画

30年1月頃新年会も兼ねて平成30年度計画会議を計画

その他について

○広報について

0(ゼロ) - N E X T活動内容が不明瞭であるために一部メーカー様からの質問を受けることが多いことなどから、(株)ヤマダヤ余語氏、(株)豊栄 水谷氏の2名を今後WEB広報担当として任命。

○その他取り組み

・スカイプ会議の試験的導入～移動時間またコストを考慮して、スカイプ会議も試験的に導入する方向が決定

- ・全卸連HPの活用

現在新しくなった全卸連のHPがいまひとつ活用しきれてないことから、0-NEXT活動内容は逐一全卸連HPを活用して行くこととした。

- ・fakebookの活用

比較的年齢層も幅広く利用されているfacebookを活用して0-NEXTのページをつくり同時に運用することとした。

- ・首都圏展示会開催のご提案

29年度の0-NEXTの最重点活動として、展示会(Great Deal Show)を計画しています。以下報告いたします。

【プロジェクトメンバー】森友会長、桑原常任理事会、平木常任理事、永田常任理事、村田委員長、他東京都事務局、全卸連事務局 総勢10名

【開催日】29年7月7日 10:00~17:00

【開催場所】東京都産業貿易センター台東館

【名称】Great Deal Show(グレートディールショウ)

【開催のねらい】

メーカー様の商品情報が、地域卸店になかなか伝わりにくい現状を打破するために、今回首都圏の地域卸店の経営トップから営業現場担当、仕入れ担当を対象に『Great Deal Show』を開催実施する。またこの機会に、メーカー様にとっても日頃巡回できにくい地域卸店に売れ筋商品の提案を期待する。

Great Deal Show(グレートディールショー)とは、買い・お徳が集まる展示会という意味を込めて命名した。

【お客様】首都圏の地域卸店 幹部並びに営業担当、仕入れ担当

【展示メーカー】1社だけでは、なかなか説明会が開催できにくいのが、地域卸店にとって魅力のある商品を持っているメーカー様を想定

【メーカーリストアップ】57社リストアップし実際の商談を開始した。メーカー様からの評価は高くご案内したところは高い確率で参加いただける見通しである。

【集客の活動】今回のGreat Deal Showの成功の鍵は地域卸店の集客(250名計画)にかかっている、今回のプロジェクトメンバーは全力を挙げてそれを達成したい。

(卸店案内件数計画) 東京都33社、千葉県11社、神奈川県16社、埼玉県9社、群馬県5社、茨城県1社 計75社

ロゴ製作にあたっての思い

青年部発足 = ゼロからのスタート

O-NEXT という CI

コンピューター文字である「斜線付きゼロ」をヒントに
これまでの日雑卸にメスを入れる・楔を打ち込む」とい
う表現に進化させ、突き抜けた楔と斜体文字により「元
気・活力・躍動感」を体現しています。



O-NEXT